



一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などでご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要とされる地元でのお役立ち企業を目指しております。

東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

『何のために働くのか?』2020年度新入社員フォローアップ研修会

本年度入社（配属）の社員を対象とした、中小企業合同での新入社員研修会に参加いたしました。例年は合同入社式に始まり、新人研修・フォローアップ・ステップアップ・ブラッシュアップと入社後3年目までをサポートする内容ですが、今年はコロナウィルスの影響で合同入社式や新人研修などは中止となってしまいました。せめてフォローアップ研修だけでもと模索し、リアルではなく ZOOM での開催となりました。

『なぜ私たちは“働く”のか?』をテーマに、事前に先輩社員や経営者の講義動画を前もって視聴したうえで、当日はグループ討論、意見の共有がメインに行われました。企業によっては入社初日からのリモート業務や、新しい生活様式などで仕事の仕方が変化するなか、上司とのコミュニケーションもとりにくいなど、仕事に早く馴染みたくても、環境の激変に戸惑っている現状が、新入社員だけでなく企業側からも見受けられました。今回の研修で他企業の同期と同じ悩みを共有することができ、企業側も理解することで、前向きで活発な意見交換がされていたと思います。

当社からも2名参加しましたが「結構楽しかったです」という反応が返ってきたのでよかったと思いました。今後も新入社員さんに輝いて頂くべく、コロナ禍に於いても『共育（社員と会社が共に育つ）』を実践して行ければと思います。



年末に向けて防災・防犯対策

あまり良くないことですが、景気が思わしくなかったり、特に年末になると、建設現場に於いても、建築資材・備品・道具の盗難、いたずら、不審火などが発生することがあります。外柵等で容易に侵入できないようにしたり、防犯設備・カメラなどの対策も講じていますが、不測の事態に備え、建設工事保険にも加入しています。

建設工事保険が補償対象とする損害は、「不測かつ突発的な」事故によるものです。とはいえ被害を発生させない、最小限に食い止めることが重要ですので、常の災害養生や防犯対策、工事の安全確認、火元の管理など、細心の注意を払って工事を進めて参ります。

建設工事保険の対象となる「不測かつ突発的な」事故

原因となる事故	例
自然災害	風水害・雪害・落雷等の自然災害 (地震を除く)
外部的なアクシデント	盗難、放火、いたずら、 自動車等の衝突
工事に伴うアクシデント	火災、爆発、地盤沈下、地滑り

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！
※ニュースレターをご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

台風被害を抑えるために

日本に上陸する台風は年々大型化し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。2019年9月に関東を襲った台風15号は、各地で観測史上最も強い風が吹き荒れ、大規模な停電や断水、窓や屋根の損傷など住宅への被害が数多く発生しました。地球温暖化の影響で、台風が今後ますます強大化していくことが懸念され、その脅威から家族と暮らしを守るために、事前の備えが何より大切です。風だけで窓ガラスが割れる心配は少ないですが、風で飛ばされた看板や屋根瓦、植木鉢が窓にぶつかることで窓が割れてしまいます。

実際に窓ガラスに対策をした場合の効果を実験したところ、窓にシャッター・雨戸をつけた場合、飛来物から窓をしっかりとガードし、ガラスが割れる心配がありませんでした。養生テープを窓ガラスに貼り付けただけの場合では、簡単に割れてしまいました。



植木鉢で実験



今ある窓に簡単に後付けできるリフォームシャッター、古くなった雨戸や雨戸のない窓にも後付けできるリフォーム雨戸、開け閉めが簡単な電動シャッター、シャッターや雨戸が設置しにくい窓におすすめな防犯合わせ複層ガラスなど、ご自宅に合わせたご提案ができます。安全安心のためにぜひご検討ください。

営業・設計 山崎

農地の活用

分家住宅、店舗用地に続いて市街化調整区域の農地についてお話しします。一般的には、地目が農地の土地は、農業での利用に限られてしまいます。土地活用をするためには農地転用をする必要がありますが、市街化調整区域にある農地にはなかなかの制限があります。

お客様から売買のご相談をいただいた場合、周辺の環境や許可の状況等色々確認をした上で査定をしなければなりません。今回の物件は豊橋市王ヶ崎町にあり、調査したところ、資材置場用地や太陽光用地として農地転用ができる土地になります。

市街化調整区域の物件は、市街化区域に比べて坪単価も比較的安く、固定資産税も安い物件が多いです。資材置場など広い土地は欲しいけど予算をあまりかけられないという方には良い物件ではないかと思えます。

物件のお問い合わせは不動産担当の筒井までご連絡ください。



建築不動産営業 筒井

編集後記

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が想定されるため、重症化リスクの高い高齢者の方向けに、令和2年度に限り、通常自己負担のある方についても無料とし、接種開始時期もずらすようです。10月下旬からは一般の人でも接種できるようになるので、周りの人にうつさないためにも、接種しようと思っています。

営業アシスタント 鈴木